

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-820	14-009	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Low to moderate alcohol consumption on serum vitamin D and other indicators of bone health in postmenopausal women in a controlled feeding study.          閉経後女性において少量～中等量飲酒がビタミンおよび骨代謝マーカーにおよぼす影響</p>		
<b>執筆者</b>		
Mahabir S, Baer DJ, Pfeiffer RM, Li Y, Watkins BA, Taylor PR.		
<b>掲載誌</b>		
Eur J Clin Nutr. 2014 Nov;68(11):1267-70. doi: 10.1038/ejen.2014.191.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
閉経、飲酒、ビタミンD、骨粗鬆症、骨代謝		25226824
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b>          閉経後女性において少量～中等量飲酒が骨代謝マーカーにおよぼす影響について検討する。</p> <p><b>方法：</b>          対象者は健康な閉経後女性 51 人。年齢中央値は 58 歳。全ての対象者が 3 パターンの飲酒量（非飲酒、少量飲酒（15g/日）、中等量飲酒（30g/日））を 8 週間継続した。各飲酒量のウォッシュアウト期間は 2-5 週間とした。各飲酒量において 25(OH)D、osteocalcin (OC)、bone specific alkaline phosphatase (BSAP)、尿中 deoxypyridinoline (DPD)、helical peptide (HP)を定量した。</p> <p><b>結果：</b>          いずれの骨代謝マーカーも、飲酒量によって、統計的に有意な差を認めなかった。各飲酒量において、肥満女性は 25(OH)D 低く、DPD が高かった。また、季節と 25(OH)D の関連を認めたが、その関連において飲酒量の交絡は認めなかった。</p> <p><b>結論：</b>          閉経後女性において少量～中等量飲酒は骨代謝マーカーに影響を及ぼさなかった。</p>		